

## 普段の生活の中で

外出でもなく特別なイベントでもない・・・、普段の生活の風景です。こういった普段の生活の中での入居者の皆さんの笑顔こそが、とても大事なものに思えます。



利用者さんが食べたぶどうの種を水に浸しておいたところ、なんと芽が出てきたそうです！さっそく庭に埋めてみました。早く大きくなるといいですね。また楽しさが一つ増えましたね。



「重陽の節句」をご存知ですか？観菊会といって菊酒を飲み、栗ご飯を炊いて長寿を願い邪気を祓ったお祝い事だそうです。職員も知らなかったのですが、季節感のあるこういった行事を大切にしていきたいと思います。



実習に来ていた学生さんの主催で歌会が開かれました。曲目は「りんごの歌」や「もみじ」など。懐かしい曲に思わず涙を流される方もいらっしゃいました。みなさんの澄んだ歌声が秋空に響いていました。

### 最近思ったこと・・・

9月の25日と26日、私は大分県別府市で行われたユニットケア全国セミナーに参加しました。活発な知的論議の余韻に浸った後、仲間と食事をしながらの介護談義。「介護で一番大切な事は何」と聞かれ「それぞれ価値観は違うよね」「でも最近どの研修にいても、新しい痴呆介護を創りだす原点として痴呆高齢者の尊厳を位置づけているね」「やっぱり人としての尊厳を保つ事かな」と色々おしゃべりした後お店を出ました。尊厳を保つとは、人それぞれあるだろう。「人から馬鹿にされたくない」「惨めな思いをしたくない」「お金持ちでいる事」等。でもやはり介護の世界にいと「排泄」ここに尽きるような気がします。

最近では質のよい紙おむつもたくさん出て、吸収力・肌触りも違うようです。学生時代や研修の疑似体験でチューブを付けたり、オムツをつけ1日過ごした事もあります。とても出るものではありません。知り合いが病院に入院した時、一番辛かった事は「排便の後始末を人にされる事だった」と聞いたことがあります。排泄はデリケートで微妙な問題を多く含んでいます。

私たちが一番守らなければならない尊厳とは、やはり「トイレで排泄」なのかな、と思う今日この頃です。

清響主任 海野やよい

ここに掲載した写真や記事は、晃の園ホームページ上の掲示板「旬のネタ」から抜粋したものです。掲示板「旬のネタ」には現場からのニュースが随時掲載されています。ここに掲載しきれなかったニュースや話題もたくさんありますので、よろしければご覧ください。晃の園ホームページには「晃の園」で検索するか次のアドレスからアクセスしてください。

<http://www1.ocn.ne.jp/~suruga/hikari/>

# 晃の園だより



## お一人お一人により自分らしい暮らしを

秋も深まり、富沢名産の二郎柿がおいしい季節となりました。読書に、芸術に、食欲の秋・・・、晃の園も秋色の濃い日々を送っています。

私事ではございますが、この度、清響の介護副主任を担当させていただくことになりました。入居されている皆様にとっての本当の「家」、本当の「ご家族」には及びませんが、ほっと安らげて自然に笑顔が生まれる、晃の園がそんな場所になれるよう、お一人お一人により自分らしい暮らしを築いていただけるよう、お力になればと思います。今回、合わせて十数名の職員移動がありました。一緒に暮らしていくための信頼関係、馴染みの関係づくりを大切に、励んでまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

清響副主任 美濃部香奈



## 秋風に たなびく雲の 絶え間より もれ出づる月の 影のさやけさ

虫の鳴き声にだんだんと秋の深まりを感じさせる今日この頃。9月28日は見事な満月を夜空に見ることが出来ました。まさに「中秋の名月」。皆さんはご覧になられましたか？



晃の園でもあちこちのユニットでお月見を楽しまれたようです。おだんごや、へそ餅を作ったり、小豆を煮たりと、どこか懐かしい風景がありました。おだんごを平らにして真中にくぼみ(へそ)を入れるこのへそ餅、作るのは静岡だけだったこと、皆さんご存知でしたか？



入居者さんの柔らかい手のひらでたくさんのおだんごを作って頂き、ススキを飾り、ちょこっと晩酌...澄んだ空には満月が輝いていました。月を見上げる入居者さんたちの優しい笑顔を見て、私たちもとても幸せな気持ちになることが出来ました。







## やっぱりお茶はおいしいねえ

日本一のお茶を味わおうと岡部町の”玉露の里“へ出掛けました。でもまずは腹ごしらえ・・・お昼ご飯です。とても立派なお座敷で「天井が高いねえ」と皆さん思わず見上げていました。



食事が終わるとさあいよいよ本命の玉露タイムです！お隣の建物に移り、立礼席に案内されました。「この建物は、迎いの月見山と縁起物のひょうたんを合わせて瓢月亭と言います」部屋のあちこちに月とひょうたんをモチーフにしたしつらえが見られました。私たちのユニットでも取り入れたいと思いました。



9月は菊の節句、菊の上生菓子に玉露です。簡単な作法を教わり「いただきま～す」

これが本物の味なんです。上生菓子のホワッと口の中に広がる甘味に、思わず「もう一杯！！」

その帰り道、とあるパネルを見つけて駆け寄ったUさん！「写真撮ってよ～～」思わぬ楽しい一面を拝見できました。



## ドリームプラザに行こう

外国産のチョコレートが食べたい！！という目的でドリームプラザへ足を運びましたが、少しタイミングが悪く、手に入れる事が出来ませんでした。そこで美味しい物を食べよう！と決め、お寿司屋さんへ向かいました。



特上寿司をペロリと平らげるNさん。「こんな美味しいお寿司があるんだねえ」と満足され、「おごり？」なんて冗談も。デザートにはアイスクリーム！！口の中に入らないと溶けないアイスに感動のOさん。楽しくてあっという間に時間の過ぎた一日でした。



## 今月の屋台企画！

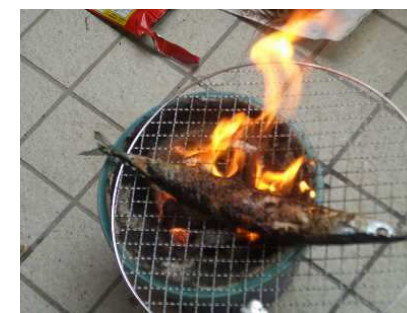
10月に入り、秋という季節を感じる間もなく涼しくなってきました。今月の屋台企画は“フランクフルト”です。

利用者さんにとっては家で食べたものというより、お祭りの屋台などで食べたというイメージが強いようです。「今日は何のお祭りかね？」と言った声も聞かれました。アツアツを食べて頂くためホットプレートで2台使い、利用者さんが集まってから焼くようにしました。

「この満面の笑みがあれば何もいらない！」そんな気持ちにさせてくれます。外はあいにくの雨で少し涼しくはいましたが、うれしそうな皆さんの笑顔は私たちの心をあったかにしてくれました。

## 秋の味覚と言えば・・・

やっぱり“さ・ん・ま”です！入居者の希望にお答えして、七輪でさんまを焼いて食べることにしました。



脂ののったさんまを七輪で焼きだすと、たちまち部屋中にいい香りが漂いはじめました。「楽しみだねえ」一匹ずつ焼いたので少々時間はかかりましたが、こんがり焼きあがったさんまに皆さん大感激です！「こうして骨を取りながら食べるのがいいんだよ・・・」と頭までかぶりついた方もいらっしゃいました。「ご馳走様」皆さんが食べ終わったお皿にはきれいに骨だけが残っていました。

## あこがれのあの人に逢いたい！

入居者のFさんは昔から森進一の大ファンです。今日はなんとその森進一夫妻が静岡でコンサートを開くということで、森進一・昌子コンサートに行ってきました。

生の歌声にFさんも身を乗り出して真剣な表情で聴き入られていました。司会進行の方の言葉に「ほう」「そうかねえ」とひとつひとつうなずかれ、「ええねえ、ええねえ」と、とても嬉しそうでした。



## 台風一過



台風22号がどうにか無事に過ぎ去り、ホッとしたのもつかの間、今度は台風23号がやってきました。多少の雨漏り報告はありましたが、前回の台風後の対策や職員と業者さんとの連携プレーのおかげで、今回も無事にやり過ごすことができました。雨の中で作業された皆さん、お疲れ様でした。

